

2020年4月5日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第62巻第51号(通算3177号)
教会設立 1959年6月14日

しゅうほう 週報

教会標語

かみさま つく
神様が創られたすべての命を
たいせつ きょうかい
大切にする教会

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10
TEL 072-992-2131

主任担任教師・牛田 匡 牧師
担任教師・水谷 憲 牧師
隠退教師・小林 達夫 牧師

ホームページ「久宝教会」
(Website)



郵便振替：00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【集会案内】主日礼拝：毎日曜 10:30-11:30 【連絡先(牛田)】090-9161-4027 kyuhochurch@koinonia.or.jp
子どもたちもいつでも歓迎します 何かお悩みがありましたら、ご遠慮なくご相談ください。

しゅうろ しゅじつ じゆなんせつだい しゅじつ ドラマティック・リーディングがいはい 棕櫚の主日(受難節第6主日) 朗 読 劇 礼 拝

そうがく
奏楽

さん

ぜん そ う もくとう
前 奏 黙 祷

まね ことば しよ しょう せつ
招きの詞 イザヤ書 53章3-4節a

さん び か ばん ばん
賛美歌 307番「ダビデの子、ホサナ」

かいかい いの しやうとう
開会のお祈りと消灯

ししきしゃ
司式者

せい し よ ふくいんしよ しょう せつ
聖 書 マルコによる福音書 11章1-11節a

さん び か ばん まぶね せつ
賛美歌 280番「馬槽のなかに」(1-3節)

おも せい めぐ さいご いっしゅうかん
思い巡らし「最後の一週間」

ろうどくしゃ
朗読者

さん び か ばん にな じゅうじか せつ
賛美歌 305番「イエスの担った十字架は」(1節のみ)

せい し よ ふくいんしよ しょう せつ
聖 書 ヨハネによる福音書 13章1-5節

さん び か ばん せつ
賛美歌 487番「イエス、イエス」(1-3節)

ろうどくげき さま せんそく
朗読劇 「イエス様の洗足」

みんな
もくそうしゃ
黙想者

もく そう たいが あい あ
黙 想 「互いに愛し合いなさい」

さん び か ばん にな じゅうじか せつ
賛美歌 305番「イエスの担った十字架は」(1節のみ)

せい い し しんと てがみ しょう せつ
聖 書 コリントの信徒への手紙 I 11章23-26節

さん び か ばん せい
賛美歌 72番「まごころもて」(2-3節のみ)

ろうどくげき さいご ばんさん
朗読劇 「最後の晩餐」

みんな
もくそうしゃ
黙想者

もく そう いのち う
黙 想 「キリストの命を受けて」

さん び か ばん にな じゅうじか せつ
賛美歌 305番「イエスの担った十字架は」(1節のみ)

せい し よ ふくいんしよ しょう せつ
聖 書 マルコによる福音書 14章26, 32-42節

さん び か ばん いばら かんむり
賛美歌 315番「茨の冠 かぶせられ」

おも せい めぐ じゅうじか し
思い巡らし「十字架と死」

ろうどくしゃ
朗読者

さん び か ばん にな じゅうじか せつ
賛美歌 305番「イエスの担った十字架は」(1節のみ)

けん ばん いま
献 金 65-1番「今そなえる」

さん び か ばん にな じゅうじか せつ
賛美歌 305番「イエスの担った十字架は」(1, 2, 6節のみ)

しゅく ふう うしだ ただし ぼくし
祝 福 牛田 匡 牧師

こう そう ばん
後 奏 アーメン コーラス (40-6番)

かいどう いの
開堂のお祈り

牛田匡牧師

門よ、開け。主の平和がこの家に入る全ての人々にありますように。

全てを創られた神様、人となって生き方を示して下さったイエス様、そしていつも私たちと共にいて私たちの背中を押して下さる聖霊と共にあって祈ります。主イエス・キリスト、この礼拝堂を祈りの家として下さい。ここであなたを尋ね求める時、いつも私たちの近くにいて下さい。またあなたによって知恵と力、慰めと喜びを与えられ、感謝をささげることができるようにして下さい。そして、あなたと一つにされ、また他の人々とも一つにされますように。私たちの神、イエス・キリストと共にあって、この礼拝堂を聖なる家として下さい。アーメン。

まね ことば しよ しょう せつ
招きの詞 イザヤ書 53章3-4節a

³彼は軽蔑され、人々に見捨てられ／痛みの人で、病を知っていた。／人々から顔を背けられるほど軽蔑され／私たちも彼を尊とうとばなかった。⁴彼が担になったのは私たちの病／彼が負おかったのは私たちの痛みであった。／しかし、私たちは思っていた。／彼は病やまいに冒され、神に打たれて／苦しめられたのだと。

さんびか ばん こ
賛美歌 307番「ダビデの子、ホサナ」

かいかい いの しょうとう
開会のお祈りと、ろうそくの消灯

司式者

神様。私たちは、主イエス・キリストのご生涯の最後の日々を覚えて、レントの最後の週の礼拝を守るために、ここに集まりました。今、世界は新しい病のために大きな苦しみの中にいます。どうかこのレントの日々、イエス様が私たちを愛し、私たちのために苦しみを受けられたことを覚えて、この礼拝を守ることができるようにしてください。そしてまた、私たちが今なすべきことを、しっかりと見つめながら、レントの日々を送ることができるようにしてください。イエス・キリストと共にあって祈ります。アーメン。(ろうそくの消灯)

せいしょ ふくいんしょ しょう せつ
聖書 マルコによる福音書 11章1-11節a

¹一行がエルサレムに近づいて、オリーブ山に面したベトファゲとベタニアにさしかかったとき、イエスは二人の弟子を使いに出そうとして、²言われた。「向こうの村へ行きなさい。村に入るとすぐ、まだ誰も乗ったことのない子ろばのつないであるのが見つかる。それをほどこいて、連れて来なさい。³もし、誰かが、『なぜ、そんなことをするのか』と言ったら、『主がお入り用なのです。すぐここにお返しになります』と言いなさい。」⁴二人は、出かけて行くと、表通りの戸口に子ろばがつかないであるのを見つけたので、それをほどこいた。⁵すると、そこに居合わせた人々が、「その子ろばをほどこいてどうするのか」と言った。⁶二人が、イエスの言われたとおり話すと、許してくれた。⁷二人が子ろばをイエスのところに連れて来て、その

上に自分の上着を掛けると、イエスはそれにお乗りになった。⁸多くの人が自分の上着を道に敷き、また、ほかの人々は野原から葉の付いた枝を切って来て敷いた。⁹そして、前を行く者も後に従う者も叫んだ。／「ホサナ。／主の名によって来られる方に／祝福があるように。¹⁰我らの父ダビデの来るべき国に／祝福があるように。／いと高き所にホサナ。」¹¹こうして、イエスはエルサレムに着いて、神殿の境内に入られた。

賛美歌 280番「馬槽のなかに」(1-3節)

思い巡らし「最後の週間」

朗読者

レントの最後の週、イエス様が十字架につけられた最後の週間に起こった出来事を、思い出してみましよう。

日曜日。

イエス様はお弟子さんたちと一緒に、イスラエルの中心地、エルサレムの町にやって来られました。イエス様は、平和のしるしとして、ロバに乗り、エルサレムの町に入られました。それを見たたくさんの人々が、しゅろの葉を手を持って、それを打ち振りながら、イエス様を喜び迎えました。

月曜日。

イエス様はエルサレムにある神殿にやって来られました。イエス様は、そこで商売をしている人々を見て、「ここはすべての国の人の祈りの家である」と言って、売り買いしている人々を追い出されました。

イエス様を嫌っていた人々は、これを聞いて、なおさらひどくイエス様を憎むようになりました。

火曜日。

イエス様はエルサレムの神殿で、たくさんの人々に神様のことを教えました。その時、一人の学者がイエス様にこう尋ねました。「イエス様、一番大切なことは何ですか？」

イエス様はお答えになりました。「一番大切なことはこれである。心を尽くしてあなたの神である主を愛しなさい。また、隣り人を自分のように愛しなさい。」

水曜日。

イエス様はシモンという人の家におられました。その時、一人の女の人がそこにやって来て、ナルドの香油という、とても高価な油をイエス様の頭に注ぎかけました。家の中に、とても良い香りが満ちあふれました。すると、イエス様は、お弟子さんたちに向かって、こうお話になりました。

「この人は前もって、私のお葬式の準備をしてくれたのだ。はっきり言うておく。これから後、どこであっても、この女の人のしたことは私の記念として語り伝えられるだろう。」 アーメン。

賛美歌 305番「イエスの担った十字架は」(1節のみ)

聖書 ヨハネによる福音書 13章 1-5節

¹過越祭の前に、イエスは、この世から父のもとへ移るご自分の時が来たことを悟り、世にいるご自分の者たちを愛して、最後まで愛し抜かれた。²夕食のときであった。すでに悪魔は、シモンの子イスカリオテのユダの心に、イエスを裏切ろうとする思いを入れていた。³イエスは、父がすべてをご自分の手に委ねられたこと、また、ご自分が神のもとから来て、神のもとに帰ろうとしていることを悟り、⁴夕食の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手拭いを取って腰に巻かれた。⁵それから、たらいに水を汲んで弟子たちの足を洗い、腰に巻いた手拭いで拭き始められた。

賛美歌 487番「イエス、イエス」(1-3節)

朗読劇「イエス様の洗足」

みんな

(ナレーター) 木曜日の夕方。イエス様は、12人の弟子たちと共に食事をするために、エルサレムの町にある家の部屋を借りました。

イエス様は、ご自分の最後の時が近づいていることを知っていました。イエス様は、十字架の死を前にして、弟子たちを集めると、とても大切なことを教えようとされたのです。

イエス様は、まず最初に、弟子の一人、ペトロの手を取って、ご自分の椅子に座らせました。

(イエス) ペトロ、あなたの足を出しなさい。

(ナレーター) イエス様が、ペトロの足を洗おうとすると、ペトロは、「イエス様、あなたが私の足を洗って下さるのですか」と言って、慌てて立ち上がろうとしました。その頃、お客の足を洗ったりすることは、奴隷のする仕事だったからです。

「私の足など、決して洗わないで下さい」というペトロに向かって、イエス様は、もう一度、こうおっしゃいました

(イエス) ペトロ、あなたの足を出しなさい。私のしていることは、今、あなたには分からないが、後で分かるようになる。

(ナレーター) イエス様は、ペトロの足を洗い終わると、こうおっしゃいました。

(イエス) 私がペトロにしたことが分かるか。あなた方は、私を「先生」とか「主」とか呼んでいる。「先生」であり、「主」である私が弟子のあなた方の足を洗うのだから、あなた方もお互いに足を洗い合わなければならない。私がした通りに、あなた方もしなさい。

黙 想 「互いに愛し合いなさい」

黙想者

命令するのは気分がいい。わがままを言うのは気分がいい。聞いてもらえない時には怒りたくなる。

けれども、イエス様。あなたは教えます。「互いに愛し合いなさい」

友達のたくさんいる人は、一人の人を迎え入れなさい。笑顔でいられる人は、慰めなさい。豊かに祈れる人は、兄弟姉妹のために祈りなさい。話の上手な人は、口をきく勇気のない人を守ってあげなさい。

足を洗ってあげるより、洗ってもらう方が気分がいい。食事の支度をしてあげるより、してもらう方が気分がいい。思い通りにならない時には怒りたくなる。

けれども、イエス様。あなたは教えます。「あなた方の中で偉くなりたい者は、皆に仕える者となりなさい。一番上になりたい者は、全ての人の僕になりなさい。私は仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人のために私の命をささげるために来たのである。」

イエス・キリスト。私たちの「先生」。十字架につけられるその前の夜、あなたは教えます。「互いに愛し合いなさい」。アーメン。

賛美歌 305番「イエスの担った十字架は」(1節のみ)

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅰ 11章23-26節

23私があなたがたに伝えたことは、私自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、24感謝の祈りを献げてそれを裂き、言われました。「これは、あなたがたのための私の体である。私の記念としてこのように行いなさい。」25食事の後、杯も同じようにして言われました。「この杯は、私の血による新しい契約である。飲む度に、私の記念としてこれを行いなさい。」26だから、あなたがたは、このパンを食べ、この杯を飲む度に、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。

賛美歌 72番「まごころもて」(2-3節のみ)

ドラマチックリーディング 朗読劇「最後の晩餐」

みんな

(ナレーター) イエス様が、12人の弟子たちと一緒に食事を始めようとしていた時のことです。イエス様は立ち上がって、パンを取りました。そして、賛美の祈りを唱え、それを裂きました。

(イエス) これは私の体です。取って、食べなさい。

(ナレーター) その後、^{さかずき}杯を取って、同じようにして言われました。

(イエス) これは、多くの人のために流される私の血、契約の血です。取って飲みなさい。

黙 想 「キリストの命を受けて」

黙想者

どんなに私が弱くても、どんなに私が自分勝手でも、どんなに私が愚かでも、私のために、あなたはパンを分けて下さる。

どれ程この世が暗くとも、どれ程この世が混乱していても、どれ程この世に悪の力が満ちていても、この世界のために、あなたは^{さかずき}杯を支えておられる。

イエス・キリスト。あなたの言葉を、あなたの心を、あなたの赦しを、あなたの祈りを、私たちの中に蒔いて下さい。

イエス・キリスト。あなたの光を、あなたの奉仕を、あなたの勇気を、あなたの喜びを、この世界の中に育てて下さい。

あなたのパンとあなたの^{さかずき}杯、あなたの命に生かされて、生きる者として下さい。アーメン。

賛美歌 305番 「イエスの担った十字架は」 (1節のみ)

聖 書 マルコによる福音書 14章 26, 32-42節

26一同は賛美の歌を歌ってから、オリーブ山へ出かけた。

32一同がゲツセマネという所に来ると、イエスは弟子たちに、「私が祈っている間、ここに座っていなさい」と言われた。³³そして、ペトロ、ヤコブ、ヨハネを伴われたが、イエスはひどく苦しみ悩み始め、³⁴彼らに言われた。「私は死ぬほど苦しい。ここを離れず、目を覚ましていなさい。」³⁵少し先に進んで地にひれ伏し、できることなら、この時を過ぎ去らせてくださるようにと祈り、³⁶こう言われた。「アッバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この^{さかずき}杯を私から取りのけてください。しかし、私の望みではなく、^{みこころ}御心のままに。」³⁷それから、戻って御覧になると、弟子たちが眠っていたので、ペトロに言われた。「シモン、眠っているのか。一時も目を覚ましていられなかったのか。³⁸誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心ははやっても、肉体は弱い。」³⁹さらに、向こうへ行って、同じ言葉で祈られた。⁴⁰再び戻って御覧になると、弟子たちは眠っていた。まぶたが重くなっていたのである。彼らは、イエスにどう言えばよいのか、分からなかった。⁴¹イエスは三度目に戻って来て言われた。「まだ眠っているのか。休んでいるのか。もうよかろう。時が来た。人の子は罪人たちの手に渡される。⁴²立て、行こう。見よ、私を裏切る者が近づいて来た。」

賛美歌 315番 「茨の冠 かぶせられ」

木曜日の晩。

食事を終えたイエス様と弟子たちは、エルサレムの町の近くにあるオリーブ山という小さな山に登り、ゲツセマネという所にやって来られました。

イエス様が祈っておられた時、イエス様を裏切った弟子のユダが、大勢の人々と一緒に、イエス様を捕らえるためにやって来ました。

弟子たちは皆、イエス様を見捨てて、逃げ出してしまいました。そして、イエス様は捕らえられ、その晩遅くに、裁判にかけられました。

金曜日。

ローマ総督ポンテオ・ピラトは、イエス様を死刑に決めました。

ローマの兵隊は、イエス様を殴り、つばを吐きかけ、茨の冠を頭にかぶらせました。ゴルゴタの丘という所で、イエス様は十字架に架けられました。

お昼の12時に、空は真っ暗になりました。そして3時頃、イエス様は息を引き取られました。

イエス様のお体は、十字架から取り降ろされ、お墓の中に納められました。イエス様はこの時30歳くらいだったと言われています。

土曜日。

この日、イエス様のお体は、一日中、暗いお墓の中に横たえられていました。

イエス様は、死にました。

レントの最後の週、受難週の一昨日は、このようにして過ぎていきました。アーメン。

さんびか ぼん にな じゅうじか せつ
 賛美歌 305番「イエスの担った十字架は」(1節のみ)

けんきん ぼん いま
 献金 65-1番「今そなえる」

さんびか ぼん にな じゅうじか せつ
 賛美歌 305番「イエスの担った十字架は」(1, 2, 6節のみ)

しゅくふく
 祝福

うしだ ただし ぼくし
 牛田 匡 牧師

神様が共におられます。安心の内に歩みを進めて行きましょう。

私たちが創り、共に生き、支えて下さる私たちの神、イエス・キリストからの恵みと、憐れみと、そして平和が、世界中のすべての方々の上に、永遠に豊かにありますように。アーメン。(第2テモテ1:2)

こうそう ぼん
 後奏 アーメン コーラス (40-6番)

(参照:「しゅろの主日とともに」『礼拝と音楽』臨時増刊2001年, 34-41頁)

《先週のメッセージより》3月29日 受難節第5主日礼拝

「偉くなんて」

水谷 憲 牧師

聖書：マタイによる福音書 20章 20-28節

本日の聖書に出てくるのはゼベダイの子たちとその母。母はイエスの十字架上の死の際にも見守っていたので、彼女も息子たちと同様に夫を置いてイエスと旅を共にしていたのかもしれない。そしてイエスが死と復活を3度目に予告した際、彼女はたまらず息子たちを連れてイエスの前にひれ伏し、願う。「王座におつきになる時、この2人の息子が、一人はあなたの右に、もう一人は左に座れるとおっしゃってください」。いつの世も、どこであろうと、母は子の幸せを一番に願うもののようだ。しかしこのことについて、他の弟子たちが腹を立てる。彼らはこのヤコブとヨハネの母と同じ願いを自分もひそかに抱いていたからこそ、腹が立ったのだろうか。もしそうなら、彼らもまた、イエスの話を全く理解できていなかったことになる。イエスの飲もうとしている杯^{さかずき}は「死の杯^{さかずき}」だとイエスは何度も言っていたのに。

イエスは言われた。「あなた方の中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、一番上になりたい者は、皆の僕^{しもべ}になりなさい」。私たちは、誰がこの中で偉いか、誰が一番かと競い張り合うことなどばかばかしい、ということを知っている。しかし、このイエスの言葉は私たちにも無関係ではない。私たちは誰しも、「偉くなりたい」とまでは思わずとも「みんなに認められたい、一目置かれたい」という欲はあるはずだから。私たちは自分の心にもそのような隠れた欲求があることを認めて、謙虚にこのキリストの言葉を受け取っていきたい。キリストはこの私が偉い人間でなくても、この私を大切に、愛して下さる。偉くなんてなくていい。キリストは「立派な人」どころかむしろ、世の中から見向きもされないような人々にこそ、優しく温かなまなざしを向けられた方だった。むしろ変に偉くない方がいい。

「みんなに一目置かれたい」というひそかな欲求が心のうちにあることを認めることは、苦しいし悔しい。しかし、それがあってこそ、イエスを十字架につけてしまったのはこの私でもあるということや、イエスはこの私の罪・この私の醜い部分を私に代わって償^{つぐな}うために命を捨てて下さったのだということ、また、キリストはこんなしょもない私のために命を投げ出して下さるほど、私のことを大切にしてくれているのだ、などの気づきへとつながる。様々な自分の弱さや傲慢^{ごうまん}さを改めて見つめなおし、「偉くなんてなくていい」というキリストのメッセージに慰めと励ましを得つつ、レントの残された日々の歩みを進めてゆきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (3月29日)

礼拝出席 大人2名 献金 2,000円 感謝

新型コロナウイルスの感染拡大予防のために、大阪府下には外出の自粛要請が出されました。私たち自身が感染しないためだけでなく、自覚症状がないまま既に感染しているかもしれない私たちが、更に抵抗力の弱い方々に感染させないため、また治療や看護に当たっている医療現場を守り、これ以上崩壊させないようにするために、皆で集まったの礼拝は休止いたしました(日本コイノニア福祉会の新任職員任職式も中止されました)。ご希望の方にはメッセージ原稿をお渡しいたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。

◎次週 2020/4/12 ^{イースター}復活日礼拝(久宝まぶねこども園新園舎・教会堂にて)

招きの詞 コリントの信徒への手紙Ⅰ 15章54b-55節

聖書 マタイによる福音書 28章1-10節

メッセージ「すべての命を大切にする」

賛美歌 575番 290番 333番 331番 334番 43-3番 奏楽: さん

- ・イースター礼拝ですが、新型コロナウイルスの感染拡大予防のために、残念ながら礼拝の中での聖餐式と、礼拝後の愛餐会は、休止いたします。

◎ お知らせ

- ・新型コロナウイルスの感染予防のために、教会でも手指消毒とマスク着用をお願いいたします。またご自宅を出る際には検温して下さい。37.5℃以上ある場合には、礼拝出席をお控え頂き、ご自宅でお祈りをもってお過ごし下さい。今後も礼拝の休止など、状況が変わり次第、ウェブサイト、Facebook、LINE公式アカウント等を通してお知らせいたします。
- ・本日、礼拝後に4月期役員会が行われます。
- ・例年5月の連休に行われているまぶねっこクラブ「レーベンスシューレ・森林ワークキャンプ」は、新型コロナウイルス感染拡大が心配されるため不開催となりました。

◎ 公告

- ・4月19日の礼拝後に、久宝教会教会堂にて、2020年度定期教会総会を行います。議案は、【1:総会議長及び総会書記選出に関する件】【2:組織】【3:2019年度教勢報告の承認に関する件】【4:2019年度教会活動報告の承認に関する件】【5:2019年度教会会計決算の承認に関する件】【6:(主任)担任教師の2020年度の謝儀等に関する件】【7:2020年度教会活動の計画の承認に関する件】【8:2020年度教会会計予算の決定に関する件】【9:2020年度CS会計予算の決定に関する件】【10:教会規則の改定に関する件】【11:役員選挙に関する件】【12:教区総会出席議員の選出に関する件】【13:その他に関する件】です。教会員の方は出席ください。もし欠席される場合は、委任状を提出ください。

◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕(*礼拝会場の変更にご注意ください)

	会場	司式	奏楽	メッセージ	行事
4/12	久宝寺地区			牛田牧師	イースター礼拝・(聖餐式?・愛餐会?)
4/19	久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)			牛田牧師	定期教会総会
4/26	未定			岡嶋伝道師 (向島伝道所)	おにぎり支援 (第二好意の庭感謝祝福式・牛田牧師)
5/3	久宝寺地区・教会堂			牛田牧師	聖餐式?・役員会

【参考資料】

現在の新型コロナウイルスの全世界的大流行に際して、3月26日に「世界教会協議会（WCC）および各地域エキュメニカル組織による共同声明」が発表されました。久宝教会も同じ心で祈りを合わせたいと思います。ぜひお読み下さい。

「今こそ、キリスト教の牧会的、預言者的、実践的な使命を果たそう」

わたしたちの主イエス・キリストの父である神、あらゆる苦難に際してわたしたちを慰めてくださり、そのことによってわたしたちを、神から受けたその慰めをもってあらゆる苦難の中にある人々を慰める者としてくださる神がほめたたえられますように（Ⅱコリント1：3,4）。

世界各地のエキュメニカル組織と世界教会協議会（WCC）を代表し、新型コロナウイルス（COVID-19）による困難に見舞われている、全世界の、主にある共同体に連帯を表明します。

わたしたちは、いかなる所においても、人々がこの状況に対して真摯に向き合い、どのような形であれ、いのちを守るために協働することを最優先するよう求めます。そして今こそ、神が愛をもってお創りになったいのちを守るために、わたしたちが、言葉と分かち合いと行動によって、また、為しえないことにおいてさえも、互いに心からつながり合うべき時です。

しかし、まさにその愛ゆえに、礼拝と交わりが、恵みの手段ではなくウィルスの感染源になってしまう危険を回避するために、今この感染症流行のただ中で必要とされることを念頭においた集会の形を採ることが重要かつ喫緊の課題です。

いのちの神に対するわたしたちの信仰は、このウィルスを伝染させないためのあらゆる手段をとることによっていのちを守るよう、わたしたちを駆り立てています。安全かつ実際的な方法でいのちを守り、苦痛を和らげ、そして教会や公共サービスの場が決してウィルス感染の中心地になることがないように十分に注意しながら、神の無条件の愛を具現化してゆこうではありませんか。

身体的な距離を取ることは、霊的に孤立することを意味しません。今こそ、貧しい人々、病んでいる人々、片隅に追いやられた人々、そして高齢者など新型コロナウイルスによって最も危険にさらされている人々に仕えたり、何かを提供したり、あるいは気配りしたりする中で、世界中の教会が、社会における自らの役割を見つめ直す時です。

最近、世界の多くの地域では外出さえできなくなっています。しかし、たとえばわたしたちが家に閉じこもることになっても、キリストのひとつのからだなる教会に結ばれる洗礼のゆえに、互いの間の深い霊的な連帯を経験することができます。家で祈ることができます。神に感謝をささげ、力や癒しや勇気を求めて祈ることもできます。さらに、公の礼拝に直接に集まらなくても、わたしたちは神と隣人への愛を示すことができるのです。多くの教会は、礼拝をオンライン中継したり動画で共有したりしています。電話を使って教会員と交信し、牧会的配慮を続けている牧師たちもいます。

新型コロナウイルスの流行は、地球上のあらゆる地域に拡大しました。ウィルスそのものに対してもキリスト者としてどう応答すべきか、ということに関しても、恐怖やパニック、痛みや苦しみ、疑いや誤った情報があります。それでもなお、ひとつの信仰に結ばれたグローバルな共同体として確かめたいと思います。この、わたしたちの弱さの真ただ中で、わたしたちは神を信頼します。神こそがわたしたちの希望なのです。

苦しみと悲劇の知らせばかりが目につきますが、その一方で、素朴な親切、献身的な愛、連帯、そして創造力に富むわくわくするような方法での希望と平和の共有にまつわるニュースも決して少なくありません。

レントにおけるわたしたちの巡礼の旅は、苦労と困難と誘惑の荒れ野を通過して、死から復活へ、神と共にある新しいのちへと至ります。この荒れ野は、新型コロナウイルスによって一層わたしたちに対して厳しく、恐ろしいものとなりました。しかしわたしたちは、心を合わせて連帯し、嘆く者と共に嘆き、不安を抱えた人々と平安を分かち合い、信仰における連帯を通して希望を取り戻すよう招かれています。

パニックになって生活必需品の買い占めに走ってしまうと、わたしたちの連帯は崩壊し、不安が増大します。もしわたしたちがこのようなことをすれば、この時に、神の道具であることなどできないでしょう。

国家や地域社会や宗教指導者による、責任あるリーダーシップが必要とされています。あらゆるレベルの行政的組織は、人々が、正しく、時宜にかなう情報が得られることを保証しなければなりません。また、生計の行き詰まりや失職に対処しなければなりません。とりわけ、清浄な水や消毒剤や石鹸、安全な居場所、最も弱い人々のための温かいケアが得られるようにしなければなりません。世界を見渡すならば、これらは、実に多くの人々にとって未だに入手困難なものなのです。今こそ、わたしたちは、共通善とは何であるか、善き政治とは何か、そして、各自の地域や共同体の伝統に根ざす倫理について熟考すべきです。

この深刻な危機にあって、世界中のリーダーシップをとる人々や政府・行政機関が、貧しい人々に対して、また、わたしたちの間にいる周縁に追いやられた人々や難民に対して優先的な関心を向けることができるよう切に祈ります。

また、ホームレス、収監されている人々、高齢者、そして社会的に孤立している人々のニーズにより大きな注意を払う必要性を、宗教指導者として特に強調したいと思います。わたしたちはまた、虐待や暴力を受けていて家に居ることが安全ではない人々、特に女性や子どもたちが、ストレスの増大の中でさらなる虐待や暴力にさらされる可能性について深く懸念しています。

新型コロナウイルスに罹患している人々とその家族のために、また、患者の治療と社会の防衛のために、危険に身をさらしながら働いてくれている医療従事者のために、引き続き祈りましょう。また、公衆衛生に関わる働き手の皆さんのためにも祈りましょう。神の助けとわたしたちの協力によってウィルスの拡大を食い止め、社会と経済と環境を、最悪の結果から守ることができるように。

神の愛はあらゆるものを包んでいます。いのちの神は、苦難の中にあってもなお、わたしたちと共にいます。

2020年3月26日

Rev. Dr Olav Fykse Tveit, 世界教会協議会 (WCC) 総幹事

Dr Souraya Bechealany, 中東教会協議会 (MECC) 総幹事

Rev. James Bhagwan, 太平洋教会協議会 (PCC) 総幹事

Dr Mathews George Chunakara, アジアキリスト教協議会 (CCA) 総幹事

Gerard Granado, カリブ諸国教会協議会 (CCC) 総幹事

Rev. Dr Fidon Mwombeki, 全アフリカ教会協議会 (AACC) 総幹事

Pastor Peter Noteboom, カナダ教会協議会 (CCC) 総幹事

Dr. Jørgen Skov Sørensen, ヨーロッパ教会協議会 (CEC) 総幹事

Jim Winkler, 米国キリスト教会協議会 (NCC-USA) 総幹事

(翻訳 関西学院大学教員 村瀬義史)